



「和興の森 in 筑波山」第八回植樹祭



2022年7月30日、和興フィルタテクノロジー株式会社(本社:東京都千代田区神田鍛冶町)は、同社創業70周年を記念し、筑波山神社林内に於いて、700本の苗を植えました。2005年より、同社の植樹は継続され、(表参照)、当会もずっと活動支援をさせて頂きました。この他にも、2010年筑波山水源の森づくり植樹祭では、植樹祭、フォーラムに続き、夕刻には「姫神」の演奏が始まりましたが、これも「姫神」と親交の深い同社のご厚意によるものでした。シンセサイザー、和太鼓、女性ヴォーカルによる神秘的な演奏が、筑波山の夜の静寂に厳かに響き渡ったこともまた、記憶に新しいことです。2019年の改元記念植樹祭でも、様々なご支援を賜りました。この時以来、コロナ禍で

活動を自粛しなければならぬ状況が続き、本年、やっと活動が再会できたのです。同社の継続的社会貢献に頭が下がります。

創業70周年を祝う看板・和興の森 in 筑波山植樹祭(2022年7月30日)

年	場所	面積	樹種	本数	人数	回数
2005	つくば工場	600	23	3017	140	第1回
2007	静岡第二工場	1,300	53	4500	200	第1回
2008	静岡第二工場	1,147	53	4254	260	第2回
2009	静岡第二工場	961	53	3944	300	第3回
2010	静岡第二工場	887	53	3200	200	第4回
2017	静岡第二工場	500	32	1736	80	第5回
2012	筑波山神社林内	1,000	30	2,000	85	第1回
2013	筑波山神社林内	300	21	980	40	第2回
2014	筑波山神社林内	300	17	900	60	第3回
2015	筑波山神社林内	300	16	900	40	第4回
2016	筑波山神社林内	300	9	600	41	第5回
2017	筑波山神社林内	300	10	600	41	第6回
2018	筑波山神社林内	300	10	600	39	第7回
2022	筑波山神社林内	350	10	700	60	第8回
合計		3,150		27,931	406	



静岡第二工場・2007年植樹、8年経過した頃の樹木の姿



同社村上洋一会長(左)と畠山重篤氏
和興の森 in 筑波山植樹祭・2017年6月



筑波山神社林内・広葉樹の生長

「全国緑化行事発祥の地」整備とフォーラムの開催(国土緑化推進機構助成事業)



2022年10月16日(土)、「全国緑化行事発祥の地」(茨城県桜川市真壁羽鳥地区・筑波山麓)に於いて、記念碑までの山道及び周辺の整備作業を行い、続いて午後からは桜川市内の真壁伝承館にてフォーラムを開催しました。これは2013年より継続的に行ってきた同地の整備がコロナ禍で中断されていたことや、2022年5月に林野庁前長官・本郷浩二氏から同地の活動に対し、感謝状を拝領したことへの御礼の意味も含めて行われました。およそ90年前、山林の荒廃を憂えて林野関係者で植樹を提唱、第一回目の植樹祭が行われた地であり、2013年、一般社団法人日本森林学会により「林業遺産」として登録されています。その後、様々な経緯を経て、現在の「全国植樹祭」へと継承されています。1986年、水戸徳川家出身の徳川宗敬氏により建立された「全国緑化行事発祥の地記念碑」の階段が一部崩れていることから、今回はその補修作業を行いました。茨城森林管理署長・金谷師導氏や職員の方々も参加、ご協力を頂きながら、周辺の風倒木を活用して参加者30名で力を合わせ、より強い丸太階段を完成させました。なお、この事業は公益社団法人国土緑化推進機構の助成を受けて行われました。

2022年10月16日(土)、「全国緑化行事発祥の地」(茨城県桜川市真壁羽鳥地区・筑波山麓)に於いて、記念碑までの山道及び周辺の整備作業を行い、続いて午後からは桜川市内の真壁伝承館にてフォーラムを開催しました。これは2013年より継続的に行ってきた同地の整備がコロナ禍で中断されていたことや、2022年5月に林野庁前長官・本郷浩二氏から同地の活動に対し、感謝状を拝領したことへの御礼の意味も含めて行われました。およそ90年前、山林の荒廃を憂えて林野関係者で植樹を提唱、第一回目の植樹祭が行われた地であり、2013年、一般社団法人日本森林学会により「林業遺産」として登録されています。その後、様々な経緯を経て、現在の「全国植樹祭」へと継承されています。1986年、水戸徳川家出身の徳川宗敬氏により建立された「全国緑化行事発祥の地記念碑」の階段が一部崩れていることから、今回はその補修作業を行いました。茨城森林管理署長・金谷師導氏や職員の方々も参加、ご協力を頂きながら、周辺の風倒木を活用して参加者30名で力を合わせ、より強い丸太階段を完成させました。なお、この事業は公益社団法人国土緑化推進機構の助成を受けて行われました。



風倒木を移動



丸太階段を止める支柱を打ち込む参加者



国土緑化推進機構の助成活動であることを記す看板

意見交換するパネラー



参加者約100人は(コロナ禍の開催で人数を制限)、「あなたのいのちを守る、緑の樹々」をテーマに語られるパネラー各々の想いに聞き入り、また休憩時の席上揮毫を楽しみました。

フォーラム・「緑の安全保障会議」

日時: 2022年10月16日 13:00~16:30

場所: 真壁伝承館まかべホール

- ① 話題提供: ■全国緑化行事発祥の地について
金谷師導氏・茨城森林管理署長
■筑波山植樹地土壌調査からみた緑環境
橋本みのり氏・大東文化大学准教授
- ② 休憩一席上揮毫(山本玲葵氏・日本文化書道院玲書館主宰)
- ③ パネルディスカッション:
パネラー 本郷浩二氏・前林野庁長官
金谷師導氏・茨城森林管理署長
吉村和就氏・グローバルウオーター・ジャパン代表
藤原一繪氏・横浜国立大学名誉教授
橋本みのり氏・大東文化大学准教授
石村章子・当会理事長
ファシリテーター・山本悟・毎日新聞社記者



橋本みのり氏の発表